

令和元年度 第2回学校評議員懇談会議事録

1. 期 日 令和2年1月31日(金)
2. 時 間 15:00~17:00
3. 会 場 長野高等学校校長室
4. 出席者 学校評議員4名
高橋桂子氏(長野市PTA連合会副会長)、寺島俊夫氏(上松区区长代理)
中村正行氏(信州大学工学部教授)、藤井純子氏(東口メンタルクリニック臨床心理士)
【アイウエオ順】

学校職員8名

5. 日 程 開会・学校評議員懇談会(I部) 15:00~15:25
授業見学 15:25~16:00
学校評議員会懇談会(II部) 16:00~17:00

6. 懇談会内容 (司会:腰原 記録:中川)

- (1) 学校長より:3つの方針 説明
- (2) 学校の状況について

①NGP事業について(小宮山NGP係主任より)

今日は英プロの授業を見ていただいた。いつも通りの授業の様子だった。

NGP事業の説明(資料をもとに)

来年度は、地域との協働を生かしつつ、個別最適化を目指す。

②全日制の状況について(学年主任より)

1学年

5つの目標「あそちてす」を掲げている。よくできている。

テスト一週間前はノースマホデーを設け、ポスターで喚起している。

SNSでの問題行動があった。ファイル指導を行っている。

2学年

スマホとのつきあい方は課題である。テスト一週間前はノースマホウイーク。

生徒会・クラブで責任のある立場となった。来年の金鷄祭の企画立案はじまり、楽しみである。11月の台湾研修旅行では、発表や学校交流など有意義なものとなった。

3学年

センター試験277名受験。出願先をどうするかで、現在大わらわ。

③定時制の状況と新たな取り組み

就職希望者は全員就職が決まった。進学希望者もおおよそ進路決定済で、センター試験受験者2名がまだ未定。今年度は、昼間の時間に学校外へ出る行事を多く行った。行事を含め、教科横断的な取り組みをしている。今年で3年目になる学校周辺の活断層の研究でSBC学校科学大賞に入賞した。

(3) 懇談（学校評議員の方からのご意見等）

○授業を見学したご意見・ご感想

委員：A P Uとの連携の経緯は

学校：卒業生・学長とのつながりの中で

委員：授業はどのくらい準備をしているのか

学校：準備をはじめたのはつい最近である。準備と即興のいいところが出るとよい。

委員：たいへんおもしろかった。あのまま開発者に提案したらどうか。

委員：S G HからN G Pに発展させたのは素晴らしい。

客観的に、長野高校の英語力は高いのか？

学校：他県のNO.1 スクールと比べてセンター試験の得点は高い。積極的に話す姿勢ができている。

委員：今年は、全員が発表することができている。授業への姿勢がすばらしい。

○その他

委員：スマホの扱いは？

学校：授業で計算に用いることもある。メリハリをつけてやっていく。

委員：地域の行事でいつも使用させていただきありがとうございます。

(4) 学校長より御礼の挨拶